

令和 5 年度 学校関係者評価報告書

(学) いづみ 幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・園のマスコットである、ももたろうの様に強く・優しく・たくましく幼児の心身の成長を促す。就学前の幼児教育を提供する。
- ・浄土真宗仏教保育のスローガンである「まことの保育」を通して宗教的情操豊かな幼児教育を提供し、時節の諸々の年間行事等で体験・経験を積み重ね、集団的規律、自主性、社会的協調性を育くみ、園児各々に達成感を芽生えさせ、育む事を目標とする

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育目標を土台とした年間の各種行事を念頭においてカリキュラムを構築し、各種感染症予防対策を維持して保育の継続に努める。
- ・教職員が当園の教育目標を理解・共通認識を深め、教育環境の更なる改善と意識を高めていく。
- ・各教員の保育の質の向上を更に目指し、各研修に積極的に参加取り組み、研修で得たことを保育に活用していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
1 保育内容・あり方	・目標、指導、指導要録他の書類作成等、職員同士の声かけ確認等、協力的かつ情報共有しながらの作成が多く見受けられた。コロナが6類と移行したが感染症予防を継続し、一同参集行事をコロナ禍前の状態で行えるよう配慮・工夫した。(仏賛歌/食前後の唱和やおちかものことば、時節の歌など)・コロナ禍より行事縮小・開催方法の変更等を余儀なくされたが緩和によって、保護者に園児の成長を披露する場をコロナ禍前の実施方法に移行し入室人数制限を適宜緩和、開放し、参観などの対応に努めた。
2 組織・運営等	・コロナ緩和によって異年齢交流もコロナ禍前の様に開催回数も復帰、増加でき良かった。・コロナ禍の影響が長引いており潤沢な人員の確保、増員、補充が最大課題。職員同士の申し送り事項等で、当人同士の解釈に差異が生じた場合があった。相互いにきちんと共通理解をしたのか?などの確認を痛感した。・新規入園者の親子サークルの開催がコロナ禍前に戻せた。HP閲覧者からの親子サークル参加、途中入園が増えたと感じた。
3 安全確保等	園の【おやくそく】は習熟でき園児の理解も良好。園児の仲間意識も高まり、園児同士で注意し合ったり、助け合ったりする姿が見受けられる様になった。園バスの置きおり防止装置の設置完了。事案が起きる前からも、乗降前後の園児数確認や朝晩園児数確認が常であったが、当番任せではなく職員全員が安全管理に臨み、一同の意識がさらに高まった。園児降ろし忘れ防止機器を設置、さらに園長の携帯電話で通報確認できるよう再設定できた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

- ・感染症対策で保育活動が全体的に委縮がちであったが緩和され、来期において更戶外活動、異年齢交流事業等を積極的に取り入れた。
- ・職員同士の共通認識・理解・情報共有を意識し声かけ・確認・申し送りなど意識し、いつも子どもを中心に置き、安全/安心な保育を提供する意識が強まった。
- ・今後も継続して保育環境の充実・感染症対策並びに安全管理対策の更なる向上に取り組む。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 地域との連携	近隣住民とのトラブル(バス乗降場所等・園舎前路側E・園舎前の違法投棄)を少なくするため、継続して意識啓蒙に努める。違法投棄においては市所轄と連絡を取り合い、減少がみられた。地域の小中学校・他施設との交流が、日程が合わずできなかった。来季は再開したい。
2 安全確保	感染症対策と予防、汚物の適切な事後処理、不審者等の対処、AEDなど救急処置研修など研修に励みたい。園児の安全確保において場面の変化の時の園児数確認をさらに徹底していく。運転士とお情報共有を更に密に。
3 行事のあり方	感染症対策に配慮しつつ恒例行事(運動会・お遊戯会等)園児の成長した姿を全学年のご家庭と共に発表できる場を復活できた事は成果だった。保護者会活動も負担を軽減しつつ、P研修においても参加者をふやしたい。

6. 学校関係者の評価

- ・コロナ等の感染対策が徐々に緩和されてきているので、園行事の中で父親(もちつき/みかん狩り/芋ほりなど)もお手伝い等で参加できる行事を少しずつでも増やしていただけると嬉しい。
- ・給食のパン給食時の量が少々不足に思うのでデザートまたは副食持参も検討してほしい。

・園が寺院併設のこともあって、学期始め、学期終わりの午前中保育の設定を見直して欲しい。特に期末の午前中保育など小学校とでき得るだけ合わせて欲しい。・体調の悪くなった園児の待機の見直しをしてほしい。熱心に指導してくれていることは承知しているが運動会等の練習時の指導の口調を見なおして欲しい。課外授業の室内競技の保護者の入室を緩和してほしい。感染症対策も大切ではあるが、もう少し緩和しても良いと思う。4人目を卒園させていただき、当園を卒園したお友だちは小中と進級しても、集団生活の中で周りとの協調協力できる素養が養われたと思う。

委員会実施日：令和 6 年 3 月 28 日

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員